

生きものさがしで 集合の 見つけた生きもの





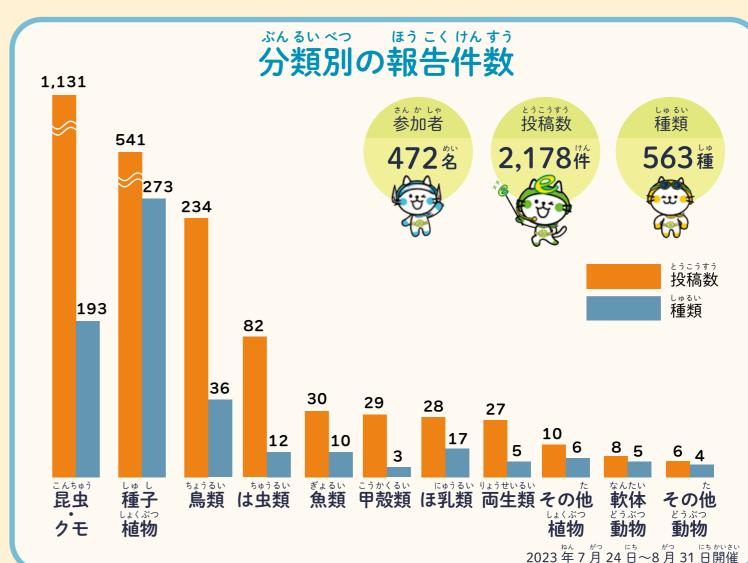
ムラサキハンゲ オモダカー サトイモ科

あぜ道や畑、野原に生育する植物です。花は仏 炎苞と呼ばれる葉に包まれています。ムラサキ ハンゲはこの仏炎苞が暗い紫色なのが特徴です。

オオシロフクモバチ ハチ首 クモバチ科

からだ くろいろ しろ も よう 体は黒色で、おしりに白い模様があるベッコウ ままがま 大型のクモを捕らえ、麻酔液 たまる たまる こ こ ようちゅう を注入し、卵を産み付けて幼虫のエサにします。



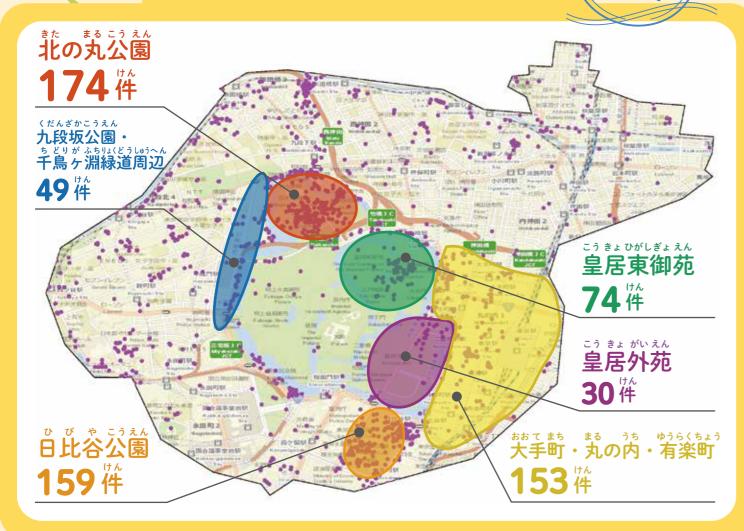


※報告のあった種のうち、バイオームのデータベースと照合できなかった種は報告件数から除外して計算しています。



生きもの発見マップ

2023 夏編



まな まるこうえん 北の丸公園

ミンミンゼミなどの夏らしい生きものや、チョウトンボやアズマヒキガエルのような水辺の生きものも発見されました。

ひ びゃこうえん 日比谷公園

園内には池が点在し、ダイサギやカワセミといった、都市部ではなかなか見ることの少ない水辺の鳥類も発見されました。

大手町・丸の内

イチョウなどの街路樹をはじめ、ハラビロカマキリやシオカラトンボなどの多様な生きものが発見されました。

こう きょひがしぎょ えん 皇居東御苑

周囲がお濠に囲まれているため、アオスジアゲハやギンヤンマ、 ヒメガマなどの水辺を好む生きものが多く発見されました。

九段坂公園・ 千鳥ヶ淵緑道周辺

ヤマトタマムシやホシホウジャクなど、都市部の一般的な遊歩 道では珍しい生きものが多く発見されました。

こうきょがいえん 皇居外苑

お濠を中心にコブハクチョウやクサガメなどの水辺の生きもの が発見されました。

とうこうすう おお じゅん 投稿数の多い順です!

1 アブラゼミ カメムシ首セミ科



「ジリジリジリ…」 を鳴きます。 にほん なっ だいひょう 日本の夏を代表する セミの仲間です。



3/シオカラトンボ

* トンボ目 トンボ科

池や沼、湿地の近くで見ら れます。成熟したオスは薄 い水色で、メスは黄色っぽ い体色をしています。



アオサギ

ーー _{もく} か か ペリカン目 サギ科

たが 長いくちばしと脚をもつ体 をすぎり の大きな水鳥です。魚や両 生類を食べるため、大きな 池やお濠で見られます。



イ ドバト

ハト目ハト科

では、また。 こうえん 市街地や公園などでよく見なかま られるハトの仲間です。首の問りを膨らませて「クッ クー」と鳴きます。



9 カイツブリ

潜水が得意な小型のカモで す。水に潜って魚や甲殻類 を捕まえます。「キリリリ」 と大きな声で鳴きます。

見つけた 生きもの ランキング



2 ミンミンゼミ

カメムシ目 セミ科

「ミーンミンミンミー…」 とくちょうでき こえ な という特徴的な声で鳴き ます。体の黒色や緑色の まだら模様が特徴です。



▲ アオスジアゲハ

** チョウ目 アゲチョウ科

_{あおじろ も よう うつく} 青白い模様が美しいアゲハ チョウで、公園や河川敷な どでよく見られます。水辺 で吸水していることもあり ます。



6 カルガモ

カモ目 カモ科

^{ねんじゅう み} 年 中見ることができるカ モの仲間です。クチバシ の先が黄色で、「グェッ、 グェッ」と濁った声で鳴き



8/ハラビロカマキリ

カマキリ目 カマキリ科

徴のカマキリの仲間です。



か サルスベリ

フトモモ目 ミソハギ科

夏から秋にかけて比較的長 期間にわたり花を咲かせま す。花の色は品種によって 違い、ピンク色や赤紫色、 ©ぽうふくろう 白色など様々です。

